

研究課題名	胃癌関連施設共通データベースの構築
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹
研究期間	2018年7月2日 ~ 2029年3月31日
対象者	2018年7月2日から2028年3月31日の間に、当院を受診した胃癌患者
意義・目的	<p>医学の進歩は、臨床的研究の積み重ねの上に成り立っています。胃癌の研究においては、今まで、関連病院各施設が独自に臨床データを蓄積する上で、研究をすすめてきました。しかしながら、単独施設のみでは症例の解析には限界を認めます。そこで、広島県の関連病院各施設のデータを共用することによって、大きいデータを解析できるようになり、より臨床に反映することが期待できます。その解析の結果、将来の新しい治療や検査、治療方法に応用し、患者さんの治療に役立てて</p>

## 方法

の有無、術前合併症、手術既往歴、重複癌、胃癌家族歴、その他の癌家族歴、初診日、診断確定日、

無、退院日、術後在院日数、術後合併症、再手術の有無、術後補助化学療法の有無、術後補助化学療法のレジメ、コース数、手術の病理所見（組織型、腫瘍径、リンパ管侵襲の有無、~~無、深達度、リンパ節転移の個数、~~pStage、断端への浸潤の有無、HER2 status、薬物線治療の組織学的効果判定 GIST リスク分類、NET WHO 分類）、最終生存確認日、死因、再発の有無、再発確認日、再発後の治療の有無、再発後の治療のレジメなどです。

院、吉田総合病院（五十音順）

共同研究機関で共有したデータベースに、各施設ごとに登録します。共同研究機関でのデータの

### 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。データベースは匿名化したデータをデータベースに登録し、個人情報が保護できるように厳重に管理されており、見ることができるのは、医療関係者および研究者のみです。また、プライバシー保護のため、あなたから提供して頂いたデータは、匿名化された形で研究に使用させていただきます。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

准教授 田邊和照

研究機関：広島大学